



## ②アルバイトと授業の両立が難しくなる可能性のある例

アルバイトの種類等	おおまかな1日の流れ																							
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24			
工事現場でアルバイトをしていたCさん			起床		仕事											現場が遠いので遅刻する	授業	帰宅	自由	就寝				
ファストフード店でアルバイトをしているDさん			起床		仕事										他のアルバイトが休んだ時にシフトに入れられる	授業	帰宅		就寝					

Cさん、Dさんは、卒業することはできましたが、アルバイトが原因で欠時数が多くなったり、卒業が遅れたりしました。

Cさんは工事現場でアルバイトをしていましたが、現場が遠方であったため、授業に間に合わないことが非常に多い生徒でした。3・4時間目の授業を中心に欠時数が増え、単位が修得できない科目が目立ちました。

Dさんはファストフード店でアルバイトをしていました。アルバイトを始めたころは授業に影響が出ないように気を付けていましたが、同じ職場の全日制の高校生がアルバイトを休んだ際に、代わりにシフトに入ることが増えてしまいました。欠時数が増えてしまったことにより、卒業見込みが立たなくなり、就職活動に大きな影響がでました。

## (2)一番大切なのは「学業」です。

厚生労働省や文部科学省では「高校生等のアルバイトの労働条件の確保について」と題して、業界団体に対して高校生を雇用する際に「配慮すべきこと」を要請しています。

そのなかに「試験の準備期間や試験期間中などに、本人の希望に反してシフトを入れていませんか」というチェック項目があります。学校の授業や行事を考えてアルバイトをしているうちは良いのですが、アルバイトが中心のスケジュールを考え始めると、授業が疎かになります。

アルバイト先を選ぶ際に一番大切なのは、皆さんの学業に対して配慮をしてくれる職場かどうかという点です。配慮のある職場であれば、「この期間は勉強をしたい」と申し出ればシフトを減らしてくれたり、授業に影響が出るような無理なシフトは組まないでしょう。本当に皆さんの将来を心配してくれている職場の上司であれば、授業の時間帯にシフトを入れてくるようなことは無いはずですよ。